

地域闘争の 飛躍の年へ

港合同

全国金属機械労働組合 港合同
 大阪市港区南市岡3・6・26
 TEL 06・6583・4858
 FAX 06・6583・4600

謹賀新年

港合同 副委員長 中村 吉 政

二〇一三年の新年にあたり港合同組合員、家族友好組合の皆さんに新年の御挨拶を申し上げます。昨年、港合同は悲しみの一年でした。

三月に大和田事務局長、



八月に辻岡執行委員が相次いで逝去されました。

港合同を確たる地域組織に育てたお二人は、余人に代えがたい存在でした。

しかし、どんな困難があっても団結して前進するのが港合同結成以来の真骨頂であり、如何なる場合でも敵に弱点を見せないのがお二人の教えてした。

昌一金属支部	田中機械支部	協和金属支部	矢賀製鉄支部	大熊鉄工支部	協和機械支部	港高周波支部	関西警備支部	城北地域分会	ネグロス電分会	南労会支部	アート・アド分会	サントコヤ分会	イツツヤ分会	NRB分会	コーヨー急送分会	間口陸運分会	大輪産業分会	フジセツ分会	富士加工分会	永和金属分会	セシモ分会	田辺運送ユニオン分会	有田市給食センター分会	大阪市争議団	レインボー分会
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	-------	----------	---------	--------	-------	----------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	------------	-------------	--------	---------

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

多くの皆様の御指導や御支援によって更に団結を固めた一年であったと感じます。

悲しみを胸に秘め、お二人の遺訓を達成しなければなりません。

その一つは、長期に闘う南労会支部の闘いです。

特に昨年は執拗な組織破壊の攻撃に敢然と立ち向かい、南労会の融資元である三菱東京UFJ銀行や、大阪地検、大阪地裁での連続した街宣行動を展開してまいりました。何としても本年こそ勝利を得なければならぬと思っております。

又、和歌山県田辺市の田辺運送の破産攻撃闘争

も、破産処理に時間がかかっていますが本年中の解決に向けて奮闘しているところです。

ネグロス電工・Eさんの定年再雇用をめぐり大阪府労委、中労委、東京地裁、高裁で経営側を追い詰めています。会社は上告して悪あがきを続けています。

弁天町駅での街宣行動も三月で一年を迎えます。昨年は二万四千枚のピラを配布しました。

今年も港合同の存在や、社会の状況を市民に知らしめ、巷に溢れる未組織労働者の結集の拠り所となる活動を引き続き展開する事が、組織拡大のチャ

ンスを作っていく事になると考えます。

躍動的な地域闘争の拠点として、港合同の組織強化・拡大の指針は喫緊の課題です。動員要請にかかわらず意識的な参加を望みたいと思っています。

昨年の衆議院選挙は自民党が過半数を制しました。

民主党の内紛、民意とかけ離れた方針、原発事故処理問題、消費税増税など三年半の政権は失望だけを与えたものでした。高校無償化制度は目玉の政策でしたが朝鮮高級学校には様々な理由をつけて結局、民主党政権で

実現できませんでした。

こうした状況の中で第三極といわれる右派勢力が台頭し、アジア外交が注目されるところです。

今年の夏は参議院選挙。

自公が過半数を取り一気に改憲の風を起こそうと目論んでいる安倍政権と闘わなければなりません。

大阪では依然として橋下市長の影響が強く、この四月から様々な市民権利が奪われます。

特に、故大和田事務局長が声を大にして言われていたのが橋下の団結権破壊に対する私たちへの檄でした。

一年前の仕事初めの日に、市労連委員長が橋下

市長に深々とお辞儀し謝罪した映像が鮮明に残っています。

去年一年の労組に対する橋下市長の攻撃姿勢はこの局面にあると思っています。

相次ぐ組織破壊を目的にしたアンケート、物言えぬ職員を作り、公益通報制度を奨励し、仲間同士を分断する市長の組合攻撃は私たちへの挑戦です。

こうした中で、六名の職員が入れ墨アンケートを拒否して懲戒処分を受けました。

私たちが日頃からお世話になっている南大阪平和人権連帯会議のT氏が

その一人です。

T氏の決意に南大阪の民間組合や、市職の現職組合員、OBらで「懲戒処分を許さない南大阪の会」を設立し幅広く支援を求める活動をはじめました。

新年早々から財政支援を求める振込用紙の配布を精力的に始める段取りとなっており、処分の撤回を求めて闘わなければなりません。

同時に地域の自治体労働者と連帯し、まず、仲間の激励や、職場の閉塞感を打破する活動を展開しなければ、益々孤立をしてしまう感があります。労働組合が一步前に出

て、「闘えば必ず展望を切り開くことができるのだ」ということを共に実感したいと思います。

経済が停滞し、政治が不信を招き、私たちの暮らしに希望があるわけはありません。

だからこそ、闘わなければならぬのです。

厳しい社会に負けまいとする力は一人ひとりが仲間を信頼し、強固な団結力をつくることです。

港合同は本年も地域の先頭に立ち働くものの権利拡大を目指して闘い抜く決意です。

皆様の御指導、御支援をお願いいたします。